



大樹のこころ

外部への発信

本校の特色と言えば「家康学習」。3学期になると1年間の家康学習の集大成的な活動が、各学年で展開されます。今週の月曜日には、3年生が家康学習で学んだ「本学区の特色」について、2年生に説明するという交流学习が行われました。以前の本通信で、本校は異学年交流が盛んであるとお伝えしましたが、家康学習の場でも活発に行われています。

大樹寺小では3年生が「学区の家康公ゆかりのもの・場所」4年生が「家康公の遺訓とその一生」5年生が「ピスタライン」そして6年生が「大樹寺っ子ガイド」と系統的に家康学習を進めています。その中で、4年生の子供たちが岡崎公園に出かけ観光客を対象に、自分たちの学びの成果を紹介するという新しい試みを行いました。6年生が伝統的に「大樹寺っ子ガイド」として小学校での学びの集大成として、大樹寺で観光客にガイドする活動を行ってきています。今年の4年生が、それに準ずる活動を岡崎公園で行おうというのです。月曜日から木曜日の日程で、1日1クラスずつが出かけしていきます。

岡崎城の前で子供たちが「遺訓と家康公の一生」についての発表を行うと、多くの観光客が足を止めて聞き入ってくれます。この日は偶然にも西尾市の小学生が社会見学に来ており、大樹寺小の発表を聞いてくれました。予想を上回る観客に臆するかなと思いましたが、子供たちはとても立派。役割分担や演技指導がしっかりとできており、見応えのある発表となりました。発表が終わると、大きな拍手が。そして子供たちは自分が作成した「家康ゆかりのパンフレット」を観光客に配って回りました。県外から来ていた方も「こんなに立派なものももらっていいの」と反応してくださるなど、好評を博していました。この様子を見て、少し誇らしい気持ちになりました。

家康学習の外部発信と言えば、やっぱり6年生です。先述しました「大樹寺っ子ガイド」が28日(水)からスタートしました。このガイドは本校の伝統的な活動であり、ガイド専用の黄色い法被が学校には常備してあるほどです。ガイドは、大樹寺の山門や多宝塔・境内などに加えて、本校敷地内にある家康公ゆかりの場所でも行われました。6年生のガイドは「さすが」の一言。話す内容もさることながら、伝える表現力も素晴らしい。自分がガイドを受けていても、これまで知らなかった情報が盛りたくさん。この6年間の学習の成果が発揮されていました。大樹寺っ子ガイドは、3月1日(金)まで行われます。

このような外部発信の場に、多くの保護者の皆様も駆けつけてくださいました。子供たちの意欲も高まったと思います。こうした伝統を今後も続けていきたいと思ひます。

